

マレイシア産水田野鼠類の分類方法

望月正巳

(富山県農業試験場)

野鼠の生態と防除に関する調査研究の場合には、外観上の特徴から単の種類を容易に判定できるものがほしいが、実際は仲々むずかしい。Harrison J. L. (1962) はマラヤの鼠類の分類方法を確立したものの、その分類方法には体や尾などの色調、毛並なども採用している。Harrison J. L. -氏の分類方法によって、水田地帯で採集した多数の個体を分類し、このうち、比較的多数の個体を得た種類について、種類別の色調をみると、第1表のように同一種でも個体変異が多く、色調を分類方法のひ

とつの基準に用いることは、判定しようとする個人差まで加わり、Harrison J. L. 氏のいう特殊専門家でないかぎり、分類を試みた場合に混乱を生じ、自信を失い易い。また、毛並は色調より一層分類基準に不向である。野鼠の生態や防除の調査研究にたずさわる技術者として、分類学者に要望することは、特殊専門家でなくとも普通種ならば容易に分類できる方法を作ってほしいということである。色調は一般通念として述べることは結構なことであろうが、種類の区別をする場合には用いない方がよい。鼠についてある程度分類学のテクニックを学んだ技術者であれば、数値で現わすことのできる外部形態、すなわち、頭胴長、後足長、耳長、尾長、尾長/頭胴長、乳房型などのほうが基本的なものと考えられるので、それらについて種類別にまとめてみたのが第2表である。これらの外部形態について種類間の相異を検討してみると、尾長/頭胴長、頭胴長、耳長の順に顕著な相異が認められたので、乳房型も入れ検索表を組立てたのが第3表である。この検索表は、以上のことから、水田野

第1表 水田野鼠の体および尾の色調

種名	背面の色調	腹面の色調	尾の色調
<i>R. argentiventer</i>	暗褐	白	灰
<i>R. jalorensis</i>	暗褐, 褐など	灰白, 白など	灰
<i>R. sp.</i>	暗褐, 褐など	白, 灰白など	黒
<i>R. exulans</i>	暗褐, 褐など	白, 灰, 黄褐など	灰または黒
<i>R. r. diardii</i>	暗褐, 黄褐など	白, 褐色がかった白, 灰白など	灰

第2表 外部形態の特徴による水田野鼠の分類

種名	乳房タイプ	頭胴長 mm	尾長 mm	頭胴長を100としたときの尾長指数	後足長 mm	耳長 mm
<i>R. argentiventer</i>	3 + 3 = 12	148.0 ± 24.6	144.0 ± 16.0	95.5 ± 6.6	32.8 ± 1.2	19.1 ± 4.2
<i>R. jalorensis</i>	2 + 3 = 10	173.7 ± 25.6	152.2 ± 14.1	90.7 ± 4.6	39.1 ± 4.4	22.8 ± 1.8
<i>R. sp.</i> (未記録)	3 + 2 = 10	157.5 ± 9.8	147.2 ± 14.0	92.4 ± 5.2	36.4 ± 2.8	19.6 ± 1.4
<i>R. exulans</i>	2 + 2 = 8	138.6 ± 24.0	128.6 ± 18.5	95.7 ± 5.5	25.0 ± 9.3	23.6 ± 3.0
<i>R. r. diardii</i>	2 + 3 = 10	162.0 ± 22.2	183.3 ± 22.2	113.0 ± 7.8	43.3 ± 3.6	19.9 ± 1.2

第3表 水田野鼠類の検索表

1	尾長/頭胴長 (100)	
	105.2~120.8.....	<i>Rattus rattus diardii</i>
	88.9~102.1.....	(2)
2	頭胴長 (mm)	
	148.1~199.3.....	<i>R. jalorensis</i>
	123.4~172.6またはそれ以下.....	(3)
3	耳長 (mm)	
	20.6~26.6.....	<i>R. exulans</i>
	18.2~21.0.....	(4)
4	乳房の型	
	3 + 3 = 12.....	<i>R. argentiventer</i>
	3 + 2 = 10.....	<i>R. sp.</i> (未記録)

鼠としてマレイシアに生息する普通種、特に近似種の判定に特殊専門家でなくとも種類の判定に役立つものと思われる。(Masami Mochizuki; Investigations, on Padi Field Rats in Malaysia 1962—1964, Entomology Division, Dept. of Agric. F. M. のプリントより)